

5月7日：引けにかけて下値を拾う動きがあり、下げ幅は限定的に

先週末の金曜日の取引では、朝方に利益確定売りが出た後、投資家心理を改善させる下値を拾う大きな動きが引けに見られたので、ベトナム株は下げ幅は限定的となった。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は0.70%安の1,241.81ポイントだった。

同指数は前日0.47%安の1,250.57ポイントで引けていた。

騰落別では307銘柄が下落し、118銘柄が上昇。41銘柄が変わらずだった。

出来高は依然として高水準で、売買高は約7億8,300万株、売買代金は22兆4,000億ドン（9億7,100万米ドル）だった。

「VN指数は1,260～1,280ポイントの以前の最高値圏に接近し、その後少し売りが出た」（BIDV証券）

「外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で売り越しを続け、出来高はわずかに減少し、1,250ポイントの節目で指数は調整した」（同証券会社）

「資金流入は前日に比べ弱まった。VN指数は中期的に1,260～1,280ポイント付近を試す前に、短期的に1,250ポイントで値を固める可能性がある」（同証券会社）

VN30指数は0.29%安の1340.73ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、22銘柄が下落、上昇は7銘柄だった。

ホアンファイ投資金融サービス（TCH）とバオベトホールディングス（BVH）が3%を超える下落となり、最も売られた。ビナミルク（VNM）、タインタインコン・ビエンホア製糖（SBT）、ベトコムバンク（VCB）、ベトジェット（VJC）は2%を超える下落となった。

午後の取引では下値を拾う買戻しが見られ、複数の大型株が上昇した。

HDバンク（HDB）は、上昇トレンドを維持し4%高となった。TPバンク（TPB）は3%を超える上昇。ホアファットグループ（HPG）とヴィエティンバンク（CTG）も2%以上買われた。

先週末、銀行セクターでは株価のパフォーマンスに大きな違いが出た。ベトコムバンク (VCB) は同セクターの中で最も売られた。サコムバンク (STB)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、フオンドン銀行 (OCB) も全て1%を超える下落。その反面、HDバンク (HDB)、TPバンク (TPB)、リエンベトポストバンク (LPB) が全て3%を超える上昇となった。

石油ガス関連株はさえない動き。ビンソン製油石化 (BSR) は最も売られ、5%を超える下げとなった。PVオイル (OIL) とペトロベトナム・ドリリング (PVD) も3%を超える下げとなった。他にはペトロベトナムガス (GAS)、PVパワー (POW)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) が売られた。

一方で、ハノイ市場では HNX 指数が 0.44% 安の 279.86 ポイントだった。

同指数は前日 0.06% 高の 281.09 ポイントだった。

売買高は 1 億 2,230 万株以上で、売買代金は 2 兆 4,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。